

枕状溶岩

この道路沿いに露出している深緑色の岩石は、約 1 億年前にできた枕状溶岩です。地質学者たちは、この枕状溶岩を構成する球根形の、通常丸っこい（たくさんの）ローブは、溶岩流の流れが深海底で低い水温と高い水圧のために止められてできたと考えています。これらのローブは、火山活動によって冷え固まった海底面から噴出した溶岩が、ちょうど歯磨きがチューブからしぼり出されるように流れ出し、すぐに冷やされて外殻を形成することでつくられます。これが繰り返されることで、ここでみられるような枕が積み重なったような岩体ができあがり、その岩体は地殻プレートの衝突に伴って徐々に海底面から隆起します。海拔 100m に位置するこの枕状溶岩は、徳之島のこの一帯を作り出した地質学的な力の強大さを鮮明に物語っています。